

# 調査結果の概要

## 1 制度改正に伴う新たな調査対象「幼保連携型認定こども園」

— 園数、園児数ともに大阪府は全国で最も多い —

### (1) 園数

#### 全国比較（全国総数 1,943 園）

園数(注)が多い都道府県順

都道府県名	園数(注)
大阪府	259園
兵庫県	172園
青森県	121園
静岡県	110園
茨城県	94園

幼稚園数が多い都道府県順

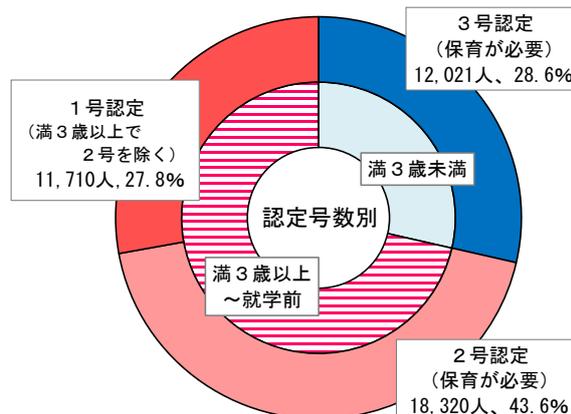
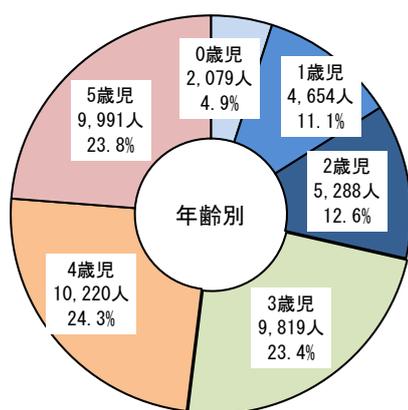
都道府県名	幼稚園数		園数(注)
	平成27年度	対前年増減数	
東京都	1,010園	-13園	17園
大阪府	693園	-73園	259園
神奈川県	688園	-32園	40園
兵庫県	611園	-85園	172園
埼玉県	590園	-35園	32園

(注) 幼保連携型認定こども園数

・大阪府は 259 園の新設があり、全国で最も多い園数。

### (2) 園児数

総在園者 42,051 人



1号認定：満3歳以上の就学前の子ども（2号認定を除く）  
 2号認定：満3歳以上の就学前の子どもで、保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども  
 3号認定：満3歳未満で保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども

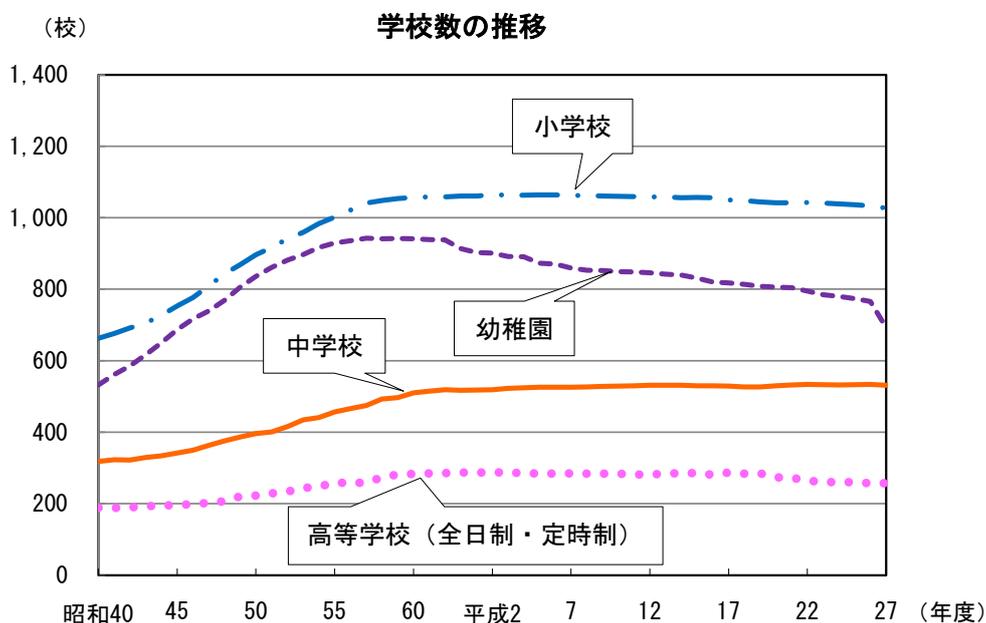
- ・年齢別では、4歳児 1万 220 人が最も多く、次いで5歳児 9,991 人、3歳児 9,819 人となっている。
- ・認定号数別では、2号認定 1万 8,320 人が最も多く、次いで3号認定 1万 2,021 人と保育が必要なものが全体の 72.2% を占めている。
- ・1学級当たりの園児数（3から5歳児）は 22.9 人である。
- ・本務教育・保育職員 1人当たりの園児数（0から5歳児）は 7.1 人である。

年度	学級数	児童数	児童数		教員数 (本務者)	1学級当たり の児童数 (3から5歳児)	本務教員・保育職員 1人当たりの児童数 (0から5歳児)
			うち 3から5歳児	人			
平成 27	1,312	42,051	30,030		5,922	22.9	7.1

## 2 学校数

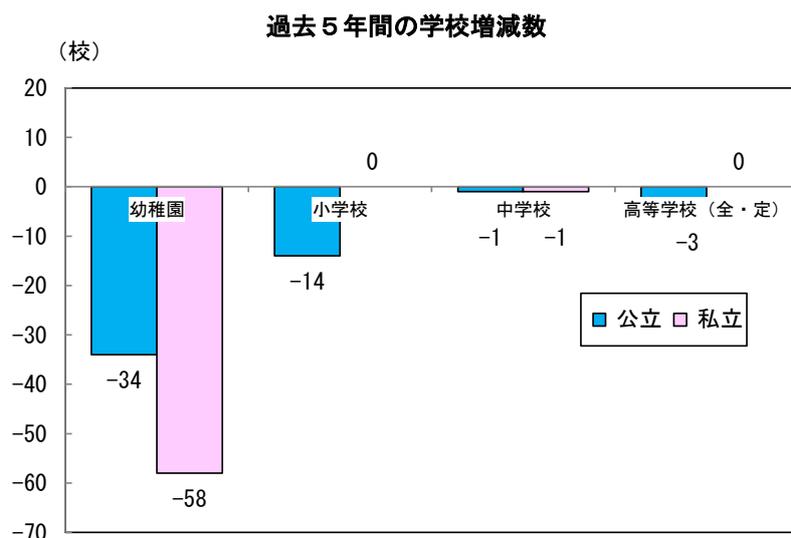
— 幼保連携型認定こども園への移行により幼稚園数が減少—

### (1) 学校数の推移



- ・幼稚園は693園で、前年度より73園減少(31年連続減少)
- ・小学校は1,027校で、前年度より6校減少(5年連続減少)
- ・中学校は531校で、前年度より3校減少(過去最高だった前年度から転じて減少)
- ・高等学校(全日制・定時制)は257校で前年度と同数

### (2) 公立・私立別、学校種別の学校数増減数

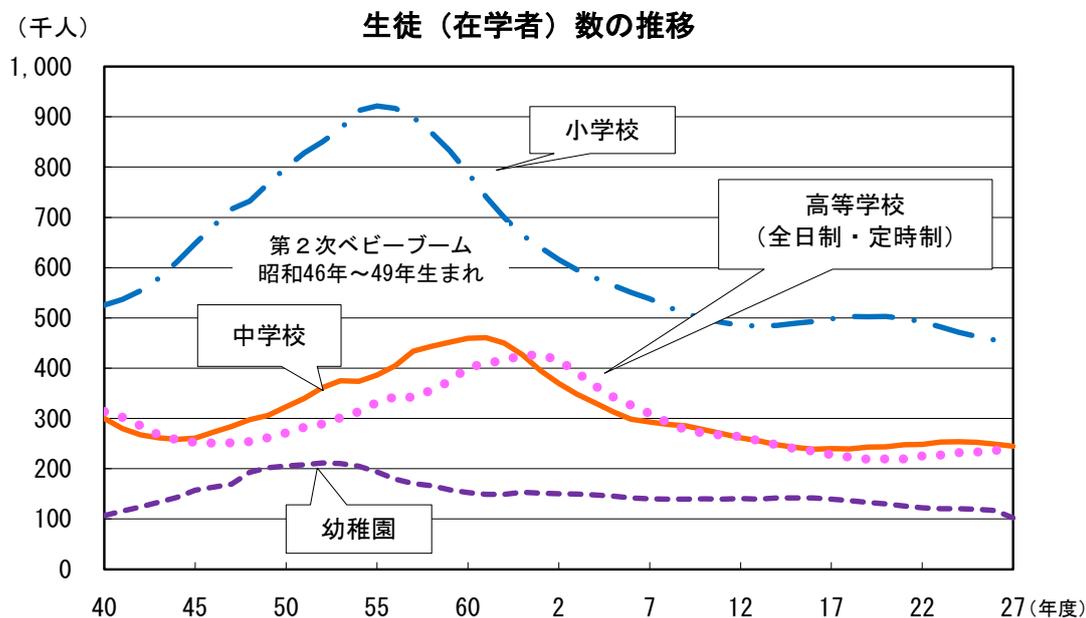


- ・公立は、幼稚園が34園、小学校が14校、中学校が1校、高等学校(全日制・定時制)で3校の減少。
- ・私立は、幼稚園が58園、中学校が1校減少し、小学校、高等学校(全日制・定時制)は増減なし。
- ・ただし幼稚園は、減少した一部が、今年度から新たな調査対象となる幼保連携型認定こども園に移行している。

### 3 園児数・児童数・生徒数（在学者数）

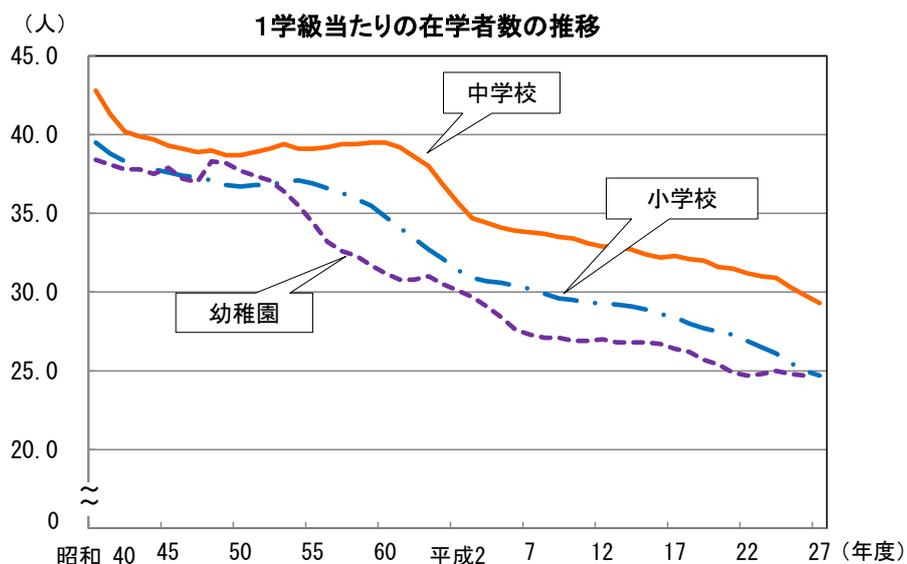
— 高等学校（全日制・定時制）は8年連続増加 —

#### （1）園児数・児童数・生徒数の推移



- ・幼稚園は10万2,095人で、前年度より1万4,857人減少（ピーク時 昭和52年度21万1,460人の48.3%）
- ・小学校は44万9,927人で、前年度より5,706人減少（ピーク時 昭和55年度92万1,519人の48.8%）
- ・中学校は24万4,705人で、前年度より4,242人減少（ピーク時 昭和61年度46万9,311人の53.1%）
- ・高等学校（全日制・定時制）は23万6,700人で、前年度より171人増加  
（ピーク時 平成元年度42万6,706人の55.5%）

#### （2）1学級当たりの在学者数

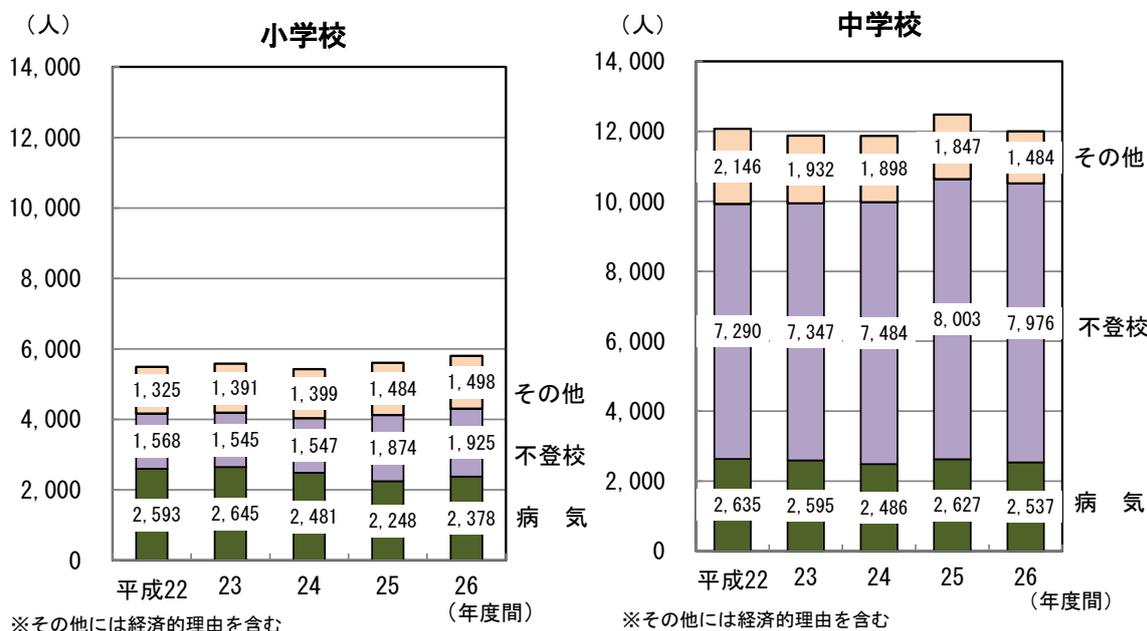


- ・幼稚園は24.6人で、前年度より0.1人減少（3年連続減少）
- ・小学校は24.7人で、前年度より0.4人減少（36年連続減少）
- ・中学校は29.3人で、前年度より0.5人減少（10年連続減少）

## 4 長期欠席者数

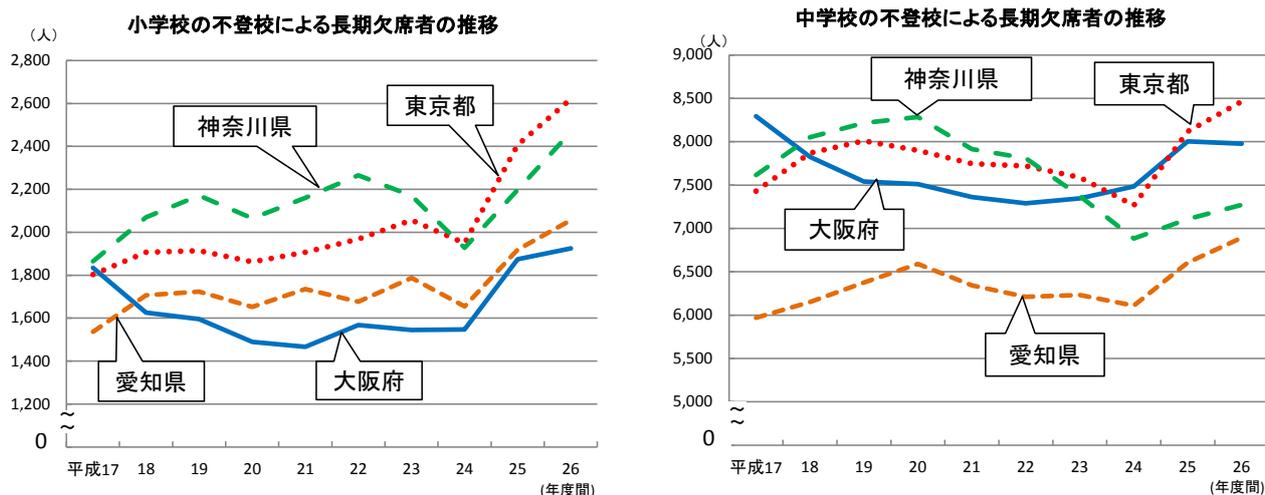
— 最も多い長期欠席理由は、小学校が「病気」で、中学校は「不登校」 —

### (1) 理由別長期欠席者



- ・ 小学校は5,801人で、前年度間より195人増加(2年連続増加)
- ・ 中学校は1万1,997人で、前年度間より480人減少(前年度間より減少)
- ・ 最も多い長期欠席理由は、小学校が「病気」で2,378人、中学校が「不登校」で7,976人
- ・ 「不登校」による長期欠席者数は小学校が1,925人(3年連続増加)、中学校が7,976人(3年連続増加から転じて減少)で、全児童・生徒数に占める割合は、小学校は0.4%で5年連続上昇、中学校は3.2%で3年連続上昇している。

### (2) 不登校による長期欠席者の他府県比較

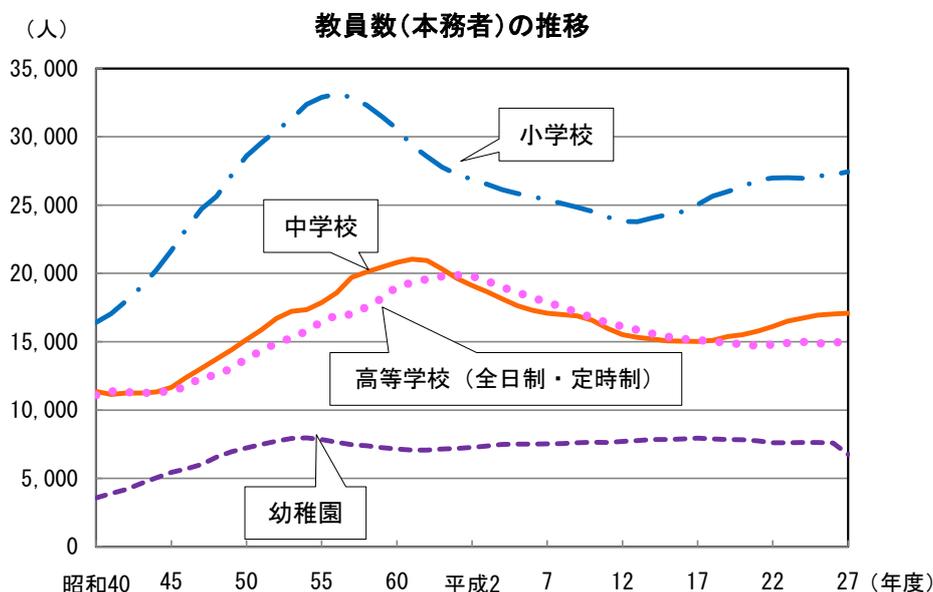


- ・ 大阪府の小学校は、平成21年度間まで減少が続いたが、平成24年度間より3年連続増加
- ・ 大阪府の中学校は、平成23年度間より3年連続増加したが、平成26年度間は減少
- ・ 平成26年度間は、小学校・中学校ともに全国的に増加傾向
- ・ 平成26年度間の小学校は東京都が最も多く、神奈川県、愛知県と続く。大阪府は全国4番目
- ・ 平成26年度間の中学校は東京都が最も多く、大阪府、神奈川県と続く

## 5 教員数（本務者）の推移

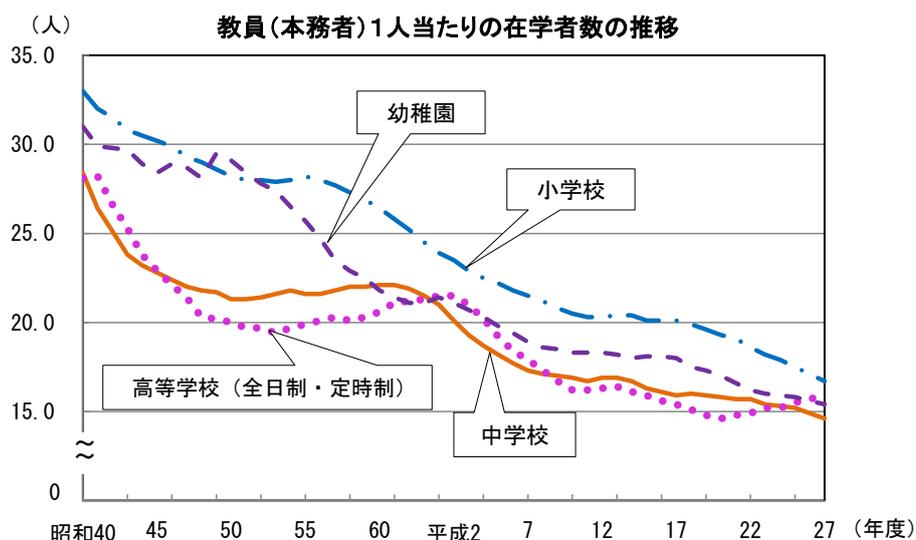
— 小学校・中学校・高等学校は増加傾向 —

### (1) 教員数（本務者）の推移



- ・ 幼稚園は 6,758 人で、前年度より 838 人減少（3年連続減少）
- ・ 小学校は 2万7,436 人で、前年度より 221 人増加（3年連続増加）
- ・ 中学校は 1万7,086 人で、前年度より 61 人増加（10年連続増加）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は 1万5,068 人で、前年度より 167 人増加（2年連続増加）

### (2) 教員（本務者）1人当たりの生徒（在学者数）数

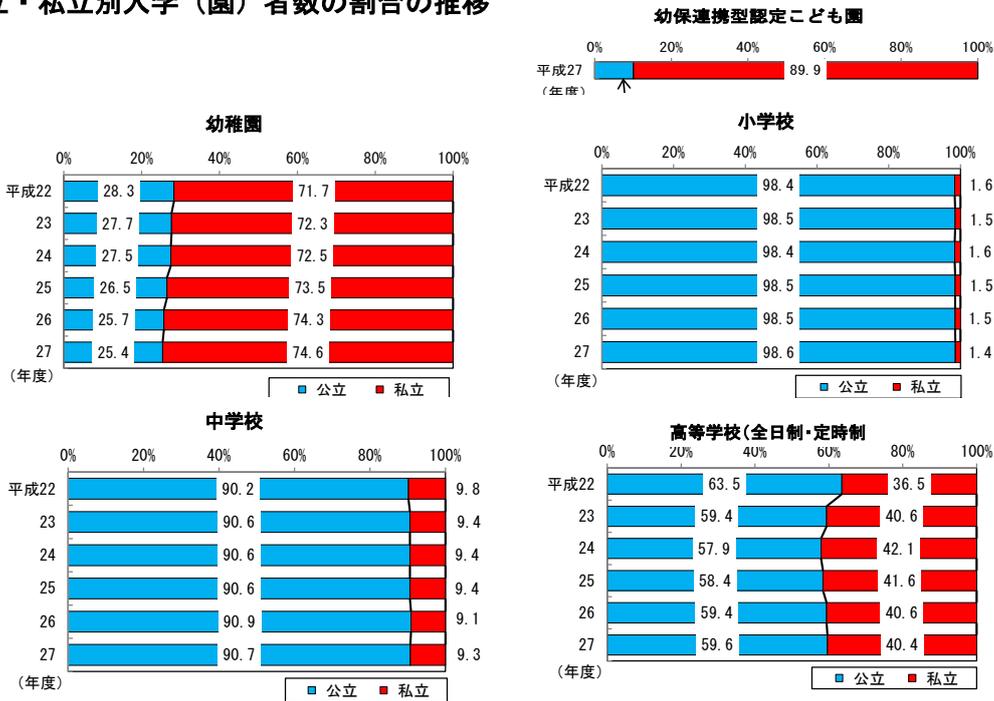


- ・ 幼稚園は 15.1 人で、前年度より 0.3 人減少（12年連続減少）
- ・ 小学校は 16.4 人で、前年度より 0.3 人減少（15年連続減少）
- ・ 中学校は 14.3 人で、前年度より 0.3 人減少（6年連続減少）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は 15.7 人で、前年度より 0.2 人減少（7年連続増加から転じて減少）

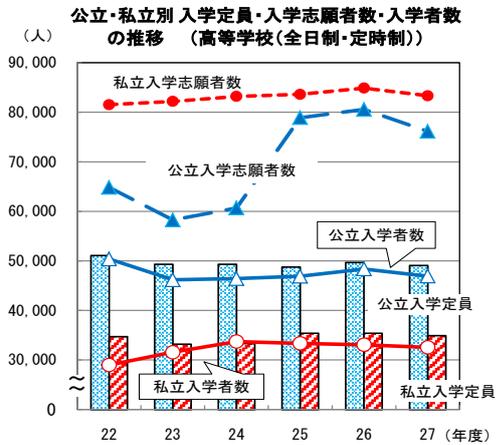
## 6 公立・私立別入学状況の推移

- 幼稚園の公立・私立別割合は、私立が上昇傾向 —
- 高等学校（全日制・定時制）の同割合は、私立が2年連続上昇の後、3年連続低下 —

### (1) 公立・私立別入学（園）者数の割合の推移



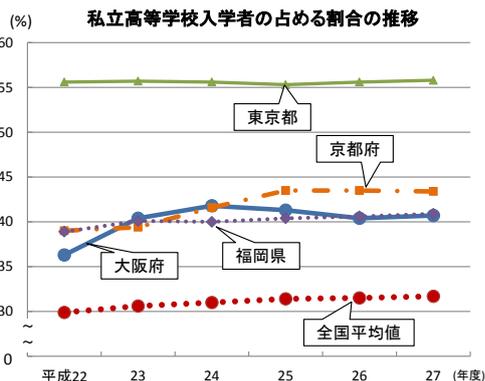
### (2) 入学定員・入学志願者数・入学者数の推移（高等学校（全日制・定時制））



大阪府の授業料支援制度等

- 平成 22 年度 公立高校生の授業料無償化
- 平成 23 年度 私立高校生等授業料支援補助金の拡充
- 平成 24 年度 公立高等学校入学者選抜（前期・後期）の拡充
- 平成 26 年度 高等学校等就学支援金制度の見直し（所得制限の導入）

### (3) 入学者のうち私立への入学者の占める割合（高等学校（全日制・定時制））



・大阪府は40.7%で、平成23年度以降5年連続40%越え

◆平成27年度の他府県比較

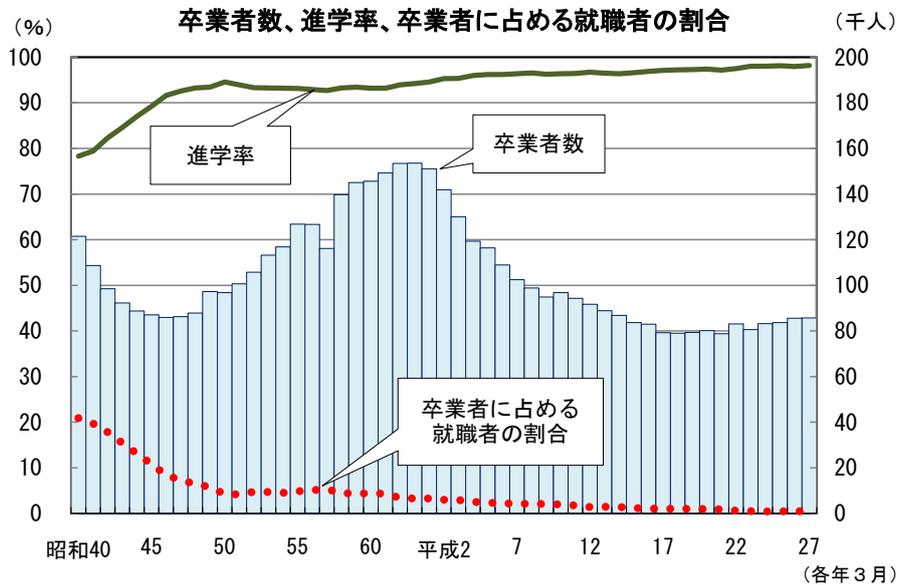
- ・大阪府は全国平均を9.0ポイント上回る
- ・都道府県別では東京都が最も高く、京都府、福岡県と続く。大阪府は4番目。

## 7 中学校の卒業後の状況

— 進学率は98.2%で過去最高 —

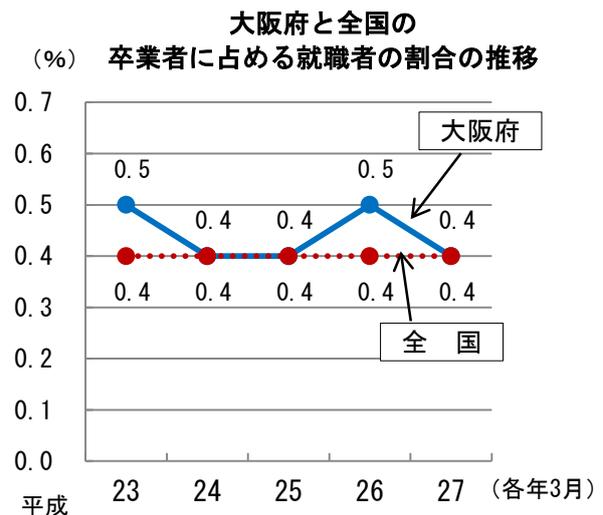
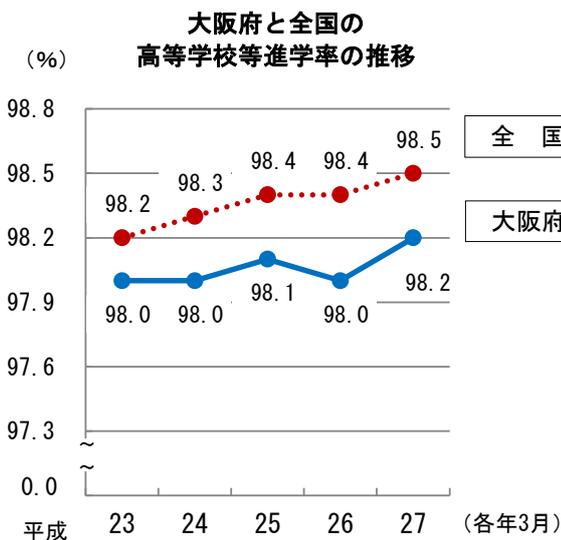
— 卒業者に占める就職者の割合は0.4% 平成24・25年と並び過去最低 —

### (1) 卒業生数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移



- ・卒業生は8万3,664人で3年連続増加から転じて減少  
(ピーク時 昭和63年度 15万3,542人の54.5%)
- ・進学率は98.2%で前年より0.2ポイント上昇(過去最高)
- ・卒業生に占める就職者の割合は0.4%(平成24、25年3月と並び過去最低)

### (2) 全国平均との比較



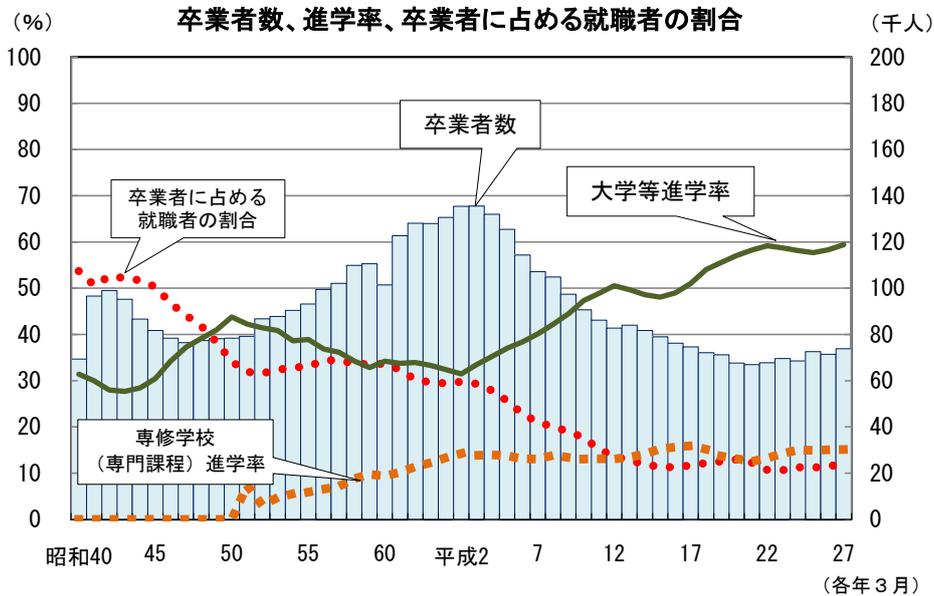
- ・進学率は、全国平均の98.5%より0.4ポイント(\*)低く、全国36番目
- ・卒業生に占める就職者の割合は、全国平均の0.4%より0.1ポイント(\*)高く、全国16番目

(\*)2 ページ「利用上の注意」を参照

## 8 高等学校（全日制・定時制）の卒業後の状況

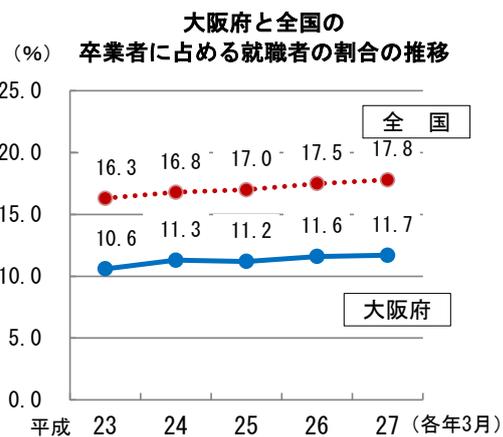
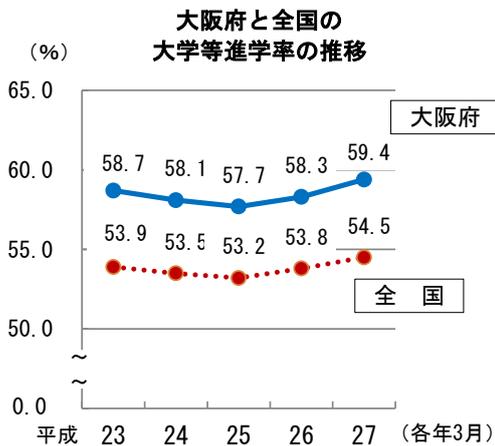
- 大学等への進学率は 59.4% で過去最高 —
- 専修学校（専門課程）への進学率は上昇傾向 —
- 卒業者に占める就職者の割合は、本年度調査から正規・非正規雇用別に調査 —

### (1) 卒業生数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移



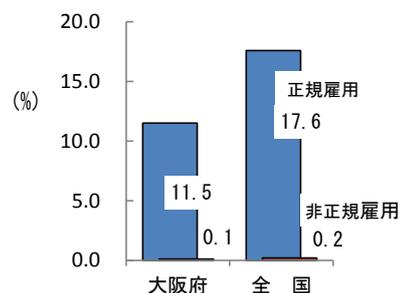
- ・ 卒業生は 7 万 3,852 人で前年より増加（ピーク時 平成 3 年度 13 万 5,563 人の 54.5%）
- ・ 大学等への進学率は 59.4% で前年より 1.1 ポイント上昇（過去最高）
- ・ 専修学校（専門課程）への進学率は 15.1% で前年と同率
- ・ 卒業者に占める就職者の割合は 11.7% で、前年と同率(\*)

### (2) 全国平均との比較



- ・ 大学等への進学率は、全国平均の 54.5% より 5.0 ポイント高く、全国 7 番目
- ・ 卒業者に占める就職者の割合は、全国平均の 17.8% より 6.2 ポイント低く(\*)、全国 43 番目
- ・ 卒業者に占める就職者の割合のうち 正規雇用の割合は 11.5%、非正規雇用は 0.1% となり、正規雇用は全国平均の 17.6% より、6.1 ポイント低い

### 卒業者に占める正規・非正規別就職者の割合

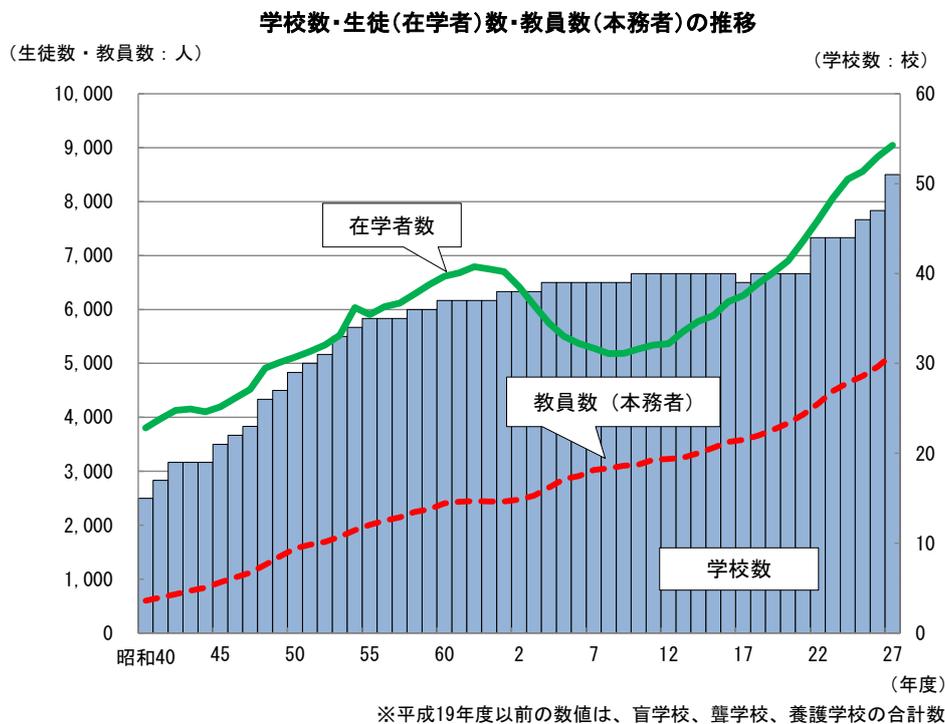


(\*)2 ページ「利用上の注意」を参照

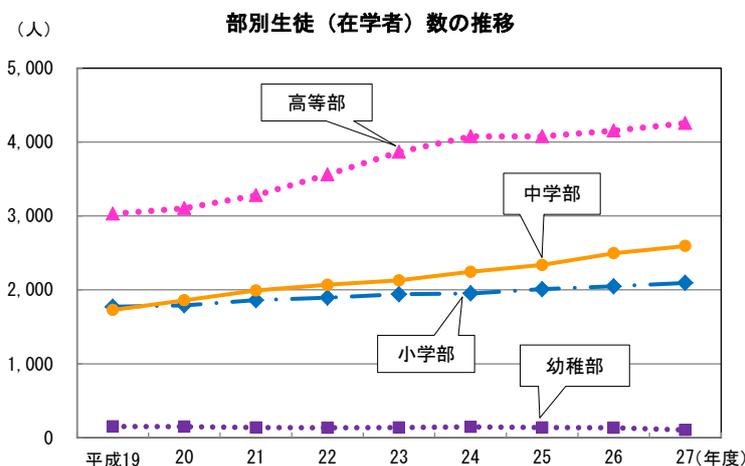
## 9 特別支援学校

— 学校数、在学者数、教員数（本務者）ともに過去最高 —

### (1) 学校数・生徒（在学者）数・教員（本務者）の推移



### (2) 部別生徒（在学者）数の推移

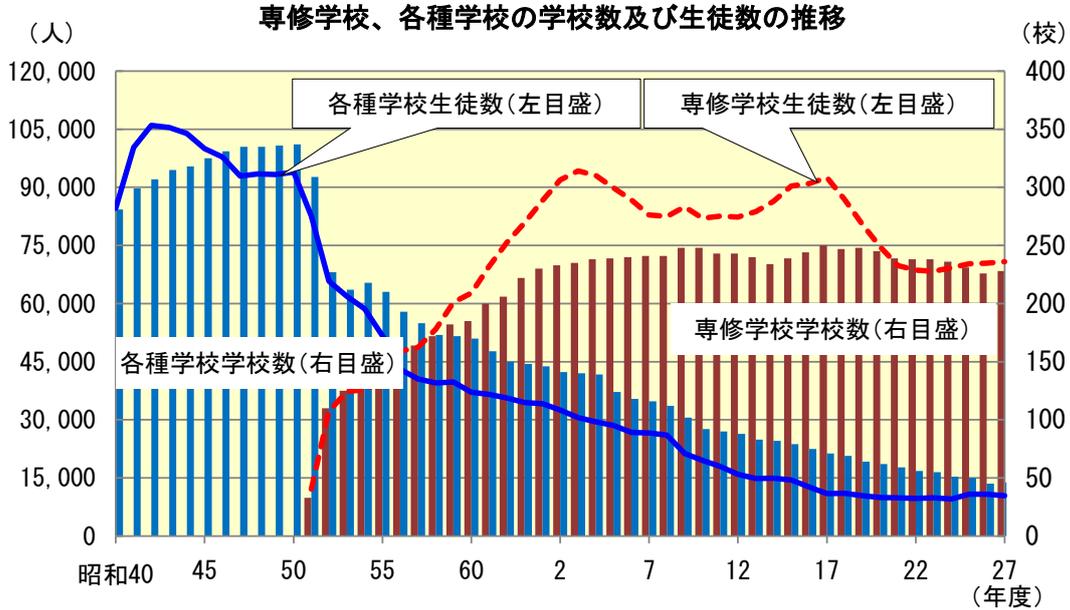


- ・ 学校数は51校で前年度より4校増加（3年連続増加）
- ・ 在学者数は9,047人で前年度より216人増加（19年連続増加）
  - 幼稚部の生徒数は、105人で前年度より29人減少
  - 小学部の生徒数は、2,094人で前年度より46人増加
  - 中学部の生徒数は、2,593人で前年度より97人増加
  - 高等部の生徒数は、4,255人で前年度より102人増加
- ・ 教員（本務者）は、5,169人で231人増加（26年連続増加）

# 10 専修学校・各種学校

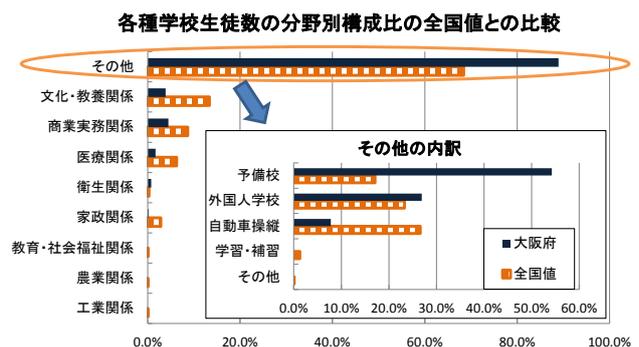
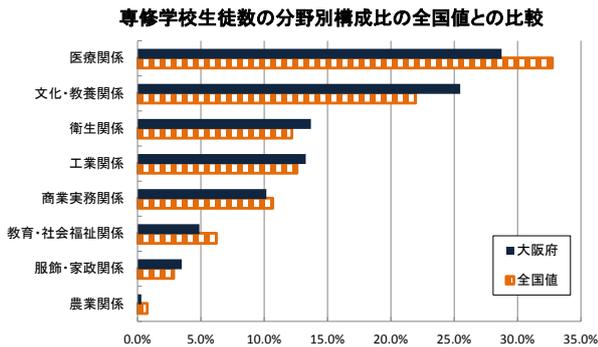
- 各種学校の学校数は昭和51年度から減少傾向 —
- 専修学校の生徒数は4年連続増加 —

## (1) 学校数及び生徒数の推移



- ・ 専修学校の学校数は228校で、前年度より2校増加（3年連続減少から転じて増加）
- ・ 専修学校の生徒数は7万779人で、前年度より370人増加（4年連続増加）
- ・ 各種学校の学校数は46校で、前年度より1校増加（昭和51年度から減少傾向）
- ・ 各種学校の生徒数は1万401人で、前年度より389人減少（2年連続減少）

## (2) 分野別構成比の全国平均との比較



- ・ 専修学校生徒数の分野別割合は、全国で最も高い「医療関係」では、全国平均を4.0ポイント下回っている。
- ・ また「文化・教養関係」では3.5ポイント上回っている。
- ・ 各種学校生徒数は、「予備校」が54.2%と過半数を占めており、全国平均の17.1%よりも37.1ポイント上回っている。
- ・ また全国で最も割合の高い「自動車操縦」では、全国平均を18.8ポイント下回っている。